

第9回 DAAS運営委員会

□日 時: 2009年3月13日(金) 午後2時~4時

□場 所: 財団法人ベターリビング 1階 BL102会議室

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-14-36 FUJIMI WEST

TEL:03-5211-0568(DAAS事務局)

□議 事:

[審議事項]

○第3期(2008-2009年度) 活動計画詳細の件

議案1 DAAS Web サイトのリニューアル・機能改善について <資料1>

議案2 DAASビデオについて 企画部会 ビデオ部会 <資料2>

[報告事項]

優良住宅・建築物記録の作成事業についての報告 <資料3>

株式会社エスエス東京本社との打合せ報告 <資料4>

デジタル卒業設計大賞 2008 についての報告 <資料5>

DAASビデオについての報告 (ビデオ上映)

配付資料

<資料1> DAAS Web サイトの改修・リニューアルについて

<資料2> -1 企画部会ビデオ作成WGの設置について(案)

-2 特集企画 ビデオ掲載報告・撮影予定

<資料3> -1 「優良住宅・建築物記録の作成」事業の作業内容

-2 費用内訳

-3 「優良な住宅・建築・街並み及びその記録の保全に関する懇談会」開催案

<資料4> -1 エスエス東京との打合せ内容の対応について

-2 株式会社エスエス東京 DAAS 打合せ議事録

<資料5> デジタル卒業設計大賞 2008 懇親会報告

ビデオ DAASインタビュー 難波和彦氏

DAASインタビュー 池原義郎氏

補足

[審議事項]

議案1 DAAS Web サイトのリニューアル・機能改善について

☆南さんより Web 改善事項の報告

※南

検索のしやすさ

収蔵物がふえた

建築家

議案2 DAASビデオについて 企画部会 ビデオ部会

☆ 本年度事業のビデオについて、各部会の立ち上げ？ 人選をお願いしたい旨伝える。

- 日本設計、積水ハウスなど(事前の打診はしない?)
- 三塩さんと三塩さんの手下、積水ハウス
- 一枚がみ 企画するチームを作る。
- それぞれの業界、団体がそれぞれ何を残したいかを、企画
- ビデオ企画チームを作る。
- 積水・有馬さんに連絡をして、運営委員会団体、建築士事務所代表、ハウスメーカー代表。一枚がみを作る。それで打診。

高見さんが1枚がみ

[報告事項]

記録作成事業についての報告

☆表彰案件を関連団体に協力頂き 1700 件集まった。書類はリストなど。

☆そのメタデータについても臨時アルバイトで整備をした。

懇談会案内

☆この取り組みに対する懇談会3月 25 日に行われ予定。

☆こういう活動への理解を求めることをやっていきたいので会員の方も参加を・・・

エスエス東京との打合せ報告

☆提案書類・議事録を添付

卒業設計大賞についての報告

☆Webの掲載の写真

DAASビデオ

難波氏＋池原氏のビデオについては、3月中にUP予定

補助金事業—は来年度に向けDAASで受取ができるよう、一般社団にすることを第一とする。

会議室案内

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-14-36 FUJIMI WEST

TEL:03-5211-0568 (DAAS事務局)



→ 飯田橋駅からの徒歩ルート

2009.3.13

DAAS Web サイトの改修・リニューアルについて

DAAS 事務局

概要

今期中を目処とした DAAS Web サイト (<https://www.daas.jp/>) のサイト全般の見直しと改修・リニューアルを提案します。

DAAS Web サイトは、開設当初よりこれまでの間、細かな仕様変更が繰り返されてきました。これは DAAS が収蔵する建築資料、関連資料、独自に製作したコンテンツ（ビデオやコラムなど）などの変化に対応するための更新でありました。しかし、今期の補助金事業によって製作された表彰建築リストなどの新たな資料提供を踏まえると、これまで細かい仕様変更では対応できず、メタデータを収蔵するためのデータベースとそれを表示する Web デザインを大幅に変更しなければならない状況になっています。

また、新たな資料提供に対する事務手続きが煩雑で、大量の資料提供や想定していなかった種類の資料が事務局へ寄せられた場合、その対応には業者など専門的知識が必要でした。このことが結果として対応の遅延に繋がっています。

そこで、DAAS の現状と本来の目的を踏まえ、利用者に対する「気の利いた情報提供」の実現と事務局の負担を極力減らすことを目指して、（1）資料の検索・閲覧を容易さと利便性の向上 （2）資料の種類が増えることへの柔軟な対応 （3）専門的な知識の必要ないサイトとページの管理 の3点を柱に Web サイトのリニューアルを実施したいと考えています。

DAAS Web の目的

建築物および景観・街並みに関する様々な情報を総合的に提供する

- 建築物・建築物群・景観に関する情報
- 関連資料（写真，ビデオ，図面，スケッチ，模型 etc...）
- 建築家・写真家など人物に関する情報
- 設計事務所・企業など組織に関する情報
- 表彰や受賞に関する情報
- コラムやブログなどの連載

DAAS が収蔵している情報

- 建築物 約 1300 件
- 関連資料 約 6000 点
- ※ 表彰対象の建築物が増える見込み（のべ 1700 件程度）

改修で実現したいこと

- 資料閲覧・検索の利便性を向上させたい
- 事務局により管理を簡便化したい
- 資料提供者によるアップロード，更新などの機能を提供したい
- イベント参加者の募集やボランティアなど人集めを Web でやりたい
- 資料やメタデータに対する指摘を受け付け，精度向上を図りたい

提案

- 想定している画面サイズを大きくすると共に，ページ内に表示する情報の見直しを実施した上でページデザインする
- ページデザインをテンプレート化し，CMS（コンテンツマネジメントシステム）によって管理することで，必要な情報を埋め込むことで新たなページを作成できるようにする
- 竣工時期や場所の情報を元にした検索方法を提供する
- 建築情報に関連づけられた関連資料や受賞情報などの情報表示を見直し，必要に応じて粒度の細かな情報へたどり着けるような表示にする
- 建築物の属性情報だった人物・組織を別のリストとしてデータベースに配置し，建築資料や関連資料，表彰や受賞などと人物・組織単位で動的に関連づけるようにする
- 資料提供者が管理できるよう資料管理ページを用意する
- 資料やメタデータの更新が簡便に行えるよう管理ページを改変する

〈資料2〉-1

2009年3月13日

DAAS事務局

企画部会ビデオ作成WGの設置について(案)

DAASではこれまで、文字や静止画像よりも情報量が多くウェブに適したコンテンツとして、建築家の動画(ビデオ)を作成、掲載してきており、掲載後にはアクセス数が増えるなど、ユーザーニーズに応えるコンテンツであるとの結果もあることから、今年度も2本分の予算を計上している。

このビデオについては、これまで事務局で撮影対象者の提案、対象者及び撮影会社との調整等を行ってきたが、さらなるコンテンツの充実を図るため、運営委員会に設けることとしていた企画部会にテーマ別のワーキンググループとして、運営委員数名と事務局からなるビデオ作成WGの設置を提案させていただきたい。

後世に残したいコンテンツの企画と実施を目指し、参加して頂く組織のバックグラウンドに基づいて企画・制作補助協力をお願いするという方針でこのWGを設置し、運営委員会でも意見があった、アトリエ系以外の組織設計事務所やゼネコン、住宅産業における建築家、設計者の中で優れた住宅、建築を設計してきた先駆者や、その評価を行ってきた建築史家などの証言も記録として残したいと考えている。委員の人選については、それらも考慮することとする。

また、作業に参加する建築士については、CPDとしてのポイントの付与されるよう、事務局で調整する。

〈ビデオ作成WGの作業イメージ〉

- ① 運営委員会で当該年度のWGメンバー、2から3名を選出する。
- ② WG、事務局でその年度の撮影対象、テーマ等を企画する。
- ③ 運営委員会でWGの企画を審議、承認する(メール承認可とする。)
- ④ WGメンバー及び事務局は、共同若しくは分担して2本のビデオ作成を行う。(撮影会社は事務局から紹介するか、もしくはWGメンバーからの推薦も可能。)
- ⑤ 完成後、成果物を運営委員会で紹介し、DAASに納品する。
- ⑥ DAAS事務局においてWeb掲載を行う。

※第3期は今回(3月)の運営委員会でWGメンバーを選出し、第3期中の撮影、第4期上半期までにウェブ掲載を行うこととし、第4期のWGメンバーについても先行して選出することも考えられる。

2009年3月13日現在

	掲載ページ	出演(予定)	内容	作成年月日
1	活動紹介 ビデオ	日本建築学会会長 村上周三氏 日本建築士会連合会会長 宮本忠長氏 新建築社 取締役社長 吉田信之氏 東京藝術大学 名誉教授 奥村昭雄氏 ライト建築アーカイブス日本 代表理事 森晃一氏 日本放送協会マルチメディア局長 上田千秋氏 ライト建築アーカイブス日本 副代表理事 南迫哲也氏 建築家 Richard Rogers 氏 隈研吾氏		2005年10月
2	特集企画	榎文彦氏(DAAS 理事長)	インタビュー 代官山ヒルサイドテラス の空間を語る	2006年12月
3	イベント報告	菊竹清訓氏	4k 映像システム 高精細建築画像のタベ	2007年5月
4	イベント報告	撮影取材	清家清作 「宮城教授の家」	2007年5月
5	イベント報告	デジタル卒業設計大賞 2007	応募作品一覧	2007年9月
6	イベント報告	デジタル卒業設計大賞 2007 隈研吾氏 講評会	受賞者との懇親会風景	2008年3月
7	特集企画	池原義郎氏	(作品を語る)	2009年3月 編集完了
8	特集企画	林昌二氏	(作品を語る)	2009年 月 撮影打合中
9	特集企画	難波和彦氏:DAAS 理事	(作品を語る)	2009年3月 編集完了
10	特集企画	(古谷誠章氏:DAAS 理事)	(作品を語る)	2009年3月 撮影打合中
<企画部会WG設置の提案> WGメンバーの選出 2008_9年度(第3期)企画の検討				2009年3月

〈資料3〉-1

2009年3月13日

DAAS事務局

「優良住宅・建築物記録の作成」事業の作業内容

第8回運営委員会で報告をした「優良住宅・建築物記録の作成」事業の作業内容について以下のように実施し3月末日までに完了、納品予定。

作業内容

- 1) 表彰案件（建築名，設計者，設計事務所，所在地等）のリスト化
- 2) 表彰案件ごとの DAAS 建築資料（諸元情報など）メタデータ作成
- 3) インターネット上に公開されている当該建築物に関連するホームページのリストアップ
- 4) 建築資料に関する DAAS 建築関連資料（写真，図面，動画等）の収集と権利者に対するデジタル化および公開の許諾確認(LF4 社)
- 5) 町並み・団地・都市計画の表彰等の事例リストの作成。
- 6) DAAS Web サイトのデータベースへの収蔵 データベース構築に係る慶應への委託

なお，上記作業において，建築物の所在地については全ての建築物において完全な住所情報の収集を目指したい。また，今後，関連資料の利用許諾の確認を進める上で，ファーストコンタクトとして不可欠な，設計者，設計事務所のコンタクト情報（名前，住所，電話番号，メールアドレス等）の収集もできる限り完全な形で遂行しておきたい。

作業費用内訳

リスト作成作業、アルバイト調整、確認作業の事務局人件費【作業1及び5】

→ 表彰案件（1,716件）のリスト化，および補完、メタデータ作成のアルバイト調整

※確認作業は，抜け項目，誤字脱字等を想定

表彰案件（1,716件）のメタデータ化【作業2及び3】

→ 所在地・諸元等の情報をリストに加える作業

→ 当該表彰案件建築物が掲載されているホームページのリストアップ

- インターネット上のホームページないしは画像ファイルへのリンク
第1次ソース (DAAS や表彰団体による公開サイト・ページ)
第2次ソース (第1次ソース以外で信頼できそうなサイト)
第3次ソース (建築愛好家や写真愛好家が公開するページ)
入力作業 アルバイト 14 人, 1,716 件/人
1 件辺り 1,000 円 ∴ 171.6 万円

LF より提供される関連資料 (写真等, 計 156 点) のデジタル化【作業 4】

- 褪色補正作業 29 点 1 点辺り 8,870 円 ∴ 25.723 万円
デジタル化作業 127 点 1 点辺り 5,620 円 ∴ 71.374 万円

設計事務所, 設計者のコンタクト情報の収集

- インターネット上に公開されている情報からコンタクト情報を収集
対象となる建築物:
・ DAAS に収録されている建築物
・ 当該事業で新たに収録する建築物
アルバイト 739 件 1 件辺り 500 円 ∴ 36.95 万円

DAAS 60 年代データの新フォーマットへの変換

- 70 年代は既に新フォーマットで作業を開始
60 年代についても新フォーマット (住所等を含む) に変換
約 300 件, 1 件辺り 400 円 ∴ 12 万円

慶應義塾大学へのデータベース構築業務委託【作業 6】

- 表彰事業を反映するためのサイト作成
委託費 ∴ 500 万円

20 万円を事務局の管理費や報告書作成, あるいは予実の差違に対する
予備費として考える.

「優良住宅・建築物記録の作成」費用内訳

2009年3月13日付訂正案

項目	単価		件数	金額	備考
1) 人件費					
DAAS事務局 人件費				300,000	
表彰案件メタデータ化					
入力作業 アルバイト14人	1,000	円/件	1,716	1,716,000	
コンタクト情報収集	500	円/件	739	369,500	
60年代データの新フォーマットへの変換	400	円/件	254	101,600	
2) LFのスキヤニング作業					
退職補正費用	3,250	円/件	29	94,250	
デジタル化費用 (カラースキヤニング・傷補正・電子透かし等処理)	5,620	円/件	156	876,720	
納品媒体への入力費用	15,000	円/作業	1	15,000	
値引き				-5,018	
消費税				49,048	
3) Web改修委託費					
慶應委託分または直接契約	1	式	5,000,000	5,000,000	
4)					
事務経費(通信費、手数料、会議費等)				195,270	
機材費(データ受取用HD)	11,939	円	1	12,000	
小計 1)~4)				8,724,370	
1)に係る源泉徴収分				275,630	
総合計				9,000,000	

「優良な住宅・建築・街並み及びその記録の保全に関する懇談会」

開催（案）

1. 趣旨

持続可能な安定した社会への転換が求められている今日において、我が国の貴重な社会ストックである質の高い住宅・建築物、街並みを滅失させることなく、その社会的、文化的価値を明らかにし、長期にわたって保全、活用していく社会環境を整備することは、極めて重要な課題となっている。また、同じ観点から、質の高い住宅・建築物、街並みに関する各種の記録、史料等は、その消失が危ぶまれているものもある中で、住宅・建築物等の価値を次世代に伝える貴重なものとして、可能な限り保全することが望まれている。

本懇談会は、住宅・建築物、街並み及びその記録の保全の意義、方策等について、建築界の代表と関連識者が討議を行い、社会に対し広くメッセージ、アピールを発することにより、それらの保全に係る社会環境の整備に寄与することを目的とする。

2. 懇談会メンバー（案）

(社) 日本建築士会連合会会長	藤本 昌也
建築家・建築空間デジタルアーカイブス理事長	槇 文彦
(社) 日本建築家協会	(推薦者)
(社) 日本建築士事務所協会連合会理事	横須賀満夫
(社) 日本建築学会	(推薦者)
(社) 建築業協会	(推薦者)
(社) 住宅生産団体連合会住環境部長	矢口 博
調査作業部会委員（別紙参照）	(人選中)
朝日新聞東京本社文化グループ	大西 若人
読売新聞東京本社文化部	高野 清見
国土交通省大臣官房審議官	小川 富由

3. 開催日時・場所

平成21年3月25日（水）13時から15時

国際文化会館 樺山・松本ルーム（東京都港区六本木 5-11-16 ）

（※公開で開催。傍聴予定者80名程度（※招待及び申し込み制））

4. 進行（案）

- (1) 懇談会の趣旨説明
- (2) 過去に評価を受けた住宅・建築物、街並み及びその記録の保全に関する事例報告（作業部会報告）
- (3) メンバーによる長期保全の意義等に関する討議
- (4) まとめ（保全に関するアピールのとりまとめ。）

(参考)

1. 事業の位置づけ

本懇談会は、(社)日本建築士会連合会が、平成20年度超長期住宅推進環境整備事業費補助金の交付を受けて行う事業である。

2. 懇談会開催準備

- ① 事務局は、(社)日本建築士会連合会が行う。
- ② 事例報告は、調査作業部会の検討作業をもとに、部会委員が報告する。

(調査作業部会の構成メンバー)

井出 建 (環境計画機構)
内田 青蔵 (埼玉大学)
大川 陸 (NPO住宅・建築・都市政策支援集団) 作業部会 座長
大月 敏雄 (東京大学)
後藤 治 (工学院大学)
栢木 まどか (東京理科大学)
鎌田 宜夫 ((財)住宅産業研修財団)
高見 真二 (国土技術政策総合研究所)
苫米地悦郎 (NPO住宅・建築・都市政策支援集団)
南 政樹 (慶応義塾大学)
武藤奈津子 (D A A S)

本年度D A A Sで取り組みをした「優良住宅・建築物記録の作成」事業に関する懇談会です。D A A Sの活動や記録保全の理解を求めするため、是非、D A A S運営委員、会員の皆様には、組織の皆様にご紹介、ご参加頂きたいと思っております。ご出席頂ける方は事務局までお知らせ下さい。

エスエス東京との打ち合せ内容の対応について

1. 経緯

株式会社エスエス東京（SS社）は、建築写真大手として、多くの建築物の竣工写真を撮影してきた実績のある会社である。今回、表彰受賞作品のDAAS収蔵に係るLF4社のケーススタディにおいて、多くの写真がSS社の撮影した写真であったことから、写真提供の趣旨等について、DAAS事務局がSS社に説明に向かったところ、主に、以下のような発言がSS社からあった。

- ① SS社は、ゼネコンの費用で写真を撮影しており、DAASへの提供については、ゼネコンの理解が必要である。否定はしないと思うが、ゼネコン各社がDAASを認知してくれれば話がスムーズである。
- ② SS社の写真は、プロフェッショナルな社内及びOB等の協力写真家が、撮影しており、提供に際しては、彼らが了解できる形で行う必要がある。提供する場合、撮影者の名前掲載なども含め、どういう形であれば了解できるか社として検討する。
- ③ SS社としては、日本の建築を広く知らしめるDAASの活動には賛同しているが、今のDAASは、最近30年間の情報が無く、あまり魅力的なものとなっていない。新建築社なども提供すべきと思うが、30年を埋める資料の提供について、SS社が了解できる方法があれば、協力することも考えられる。

2. 対応方針(案)

DAASとしては、まずは表彰作品のデータを収集することで、過去30年も含めデータの連続性を確保することとしており、今回LF4社のケーススタディが済んだ後に、それを踏まえ他の受賞者にも提供を依頼することとしている。それを前提に、SS社の発言への対応については、以下のような対応が考えられる。

- ① LF4社分のケーススタディ事例について、SS社が撮影を受注したゼネコンの情報を提供してもらい、施工がBCSメンバーであれば、BCSを通じて趣旨の理解を求める。また、今後、受賞者全般にデータ提供要請する際には、それに先だってBCSに、SS社等の撮影会社が、写真をDAASに提供することについて、包括的理解と了承を求める。
- ② SS社の検討結果を待って対応を検討するが、基本的には先方に従う。
- ③ 今後、収集しようとするLF4社のケーススタディ以外の表彰受賞物件について、SS社等が写真を保有している場合は、SS社等の了解を先に得ておき、設計者に連絡する際に、その旨を伝えるなど、早期のデータ回収が期待できるような対応について、SS社等と協議する。

株式会社エスエス東京 DAAS打合せ議事録

日 時： 2009年2月4日（水）18:00～20:00

場 所： エスエス東京本社会議室

出席者： エスエス東京 立川政司 太田和正

DAAS事務局 三塩達也 高見真二 南政樹 武藤奈津子

【経緯】

本年度の記録作成事業での写真収集について、エスエス東京社該当分については、協力を保留にしたいという連絡があった。そのため、エスエス東京社へ伺い、本事業とDAASの設立以降の状況について説明をさせて頂いた。

【打合せ内容】

DAASより以下説明

- ・ 記録作成事業について。現在行っている大手設計事務所4社への依頼については、どのような資料が提供して頂けるかというモデルケースにしたいと思っている。
- ・ このモデルケースをもとに、その他表彰案件約1,700件について、資料収集の方法を検討し進めていきたい旨を伝えた。
- ・ DAASは「ウェブの公開＝優れた建築作品を紹介する」という機能、「失われ行く資料の保管庫＝公開、非公開を問わずサーバーへ保全」という二つの機能をもっている。
- ・ 今回は、設計者から権利者へ、またはオーナーへ、ウェブで資料を公開することの了解を得て頂くようお願いしている。提出して頂いた資料のなかで権利者の了解が得られなければ公開はしない。
- ・ 非公開の場合は、文字データのみ公開をし、その後、随時資料をUPできるよう努力をしていきたい。
- ・ DAASでは建築写真家協会へ打合せやヒアリングを行っている。
- ・ 写真家紹介のWebページも検討しており、作品紹介をさせて頂きたいとお願いをしていく予定である。
- ・ 写真家の希望があれば、セキュリティの為ウェブでは解像度を下げたサムネイル程度のものだけを公開するという対応も考えている。
- ・ DAASが写真家に撮影を依頼をして収蔵作品を増やす、という提案も検討している。
- ・ エスエス東京社については、権利者の観点での意見を伺いたいと思っている。

【エスエス東京本社 意見】

- ・ DAAS 立上げのシンポジウムに出席をした。
- ・ 70年代の写真で止まっていて、最近のものが入ってないとアーカイブとしてはなりたないのではないだろうか。せめて1990年代まで、30年間を、収蔵しなければならないのでは。
- ・ エンドユーザーを考えた場合、検索をしてでなければ、利用しない。
- ・ 資料を提供する側が「あのDAASにだしているのだから」と言えるような状況をつくらなくてはいけない。
- ・ 新建築が近年撮影されたものを収蔵するのであれば、エスエスも賛同する、そういう思いで見守っていたところはある。
- ・ 今回のモデルケースについても、設計事務所に依頼をするというより新建築社がまず写真を入れるべきではないか。新建築社は、自社の写真部と著作権をもって、自社で費用をだしている。提供しやすい状況であると思われる。
- ・ エスエスでは施工者からの依頼と費用で撮影をしているため、施主・オーナー・施工者のバランスもあり、著作権、肖像権等も考え、各方面に公開に関する依頼をしなければならない。
- ・ 今回のような場合、費用の出ているゼネコンからまず依頼をすべきではないかとも思う。
- ・ プロジェクトにより著作権の契約は様々である。ネガ提出、という仕様書の場合もある。
- ・ 図面などは収蔵するのは複雑であろうと思われるが、その図面などが収蔵できないと価値のあるデータベースにならないのではないだろうか。単なる写真集となってしまうのはビジネスとしても難しいのではないか
- ・ DAASに収蔵する、選定される数についてはどうだろうか。
- ・ DAASの趣旨、ポリシーと蓄積の価値がしっかりしていれば、と考えている。
- ・ エスエスの立場として言えば、古いものが散逸している。
- ・ 近年写真もデジタルが増え、データ量の重いものを数多く撮影しているため、保管にも非常に予算がかかっている。
- ・ 個人の写真家などは保管することもできずに設計者に渡し、管理を任せてしまっている人もいると思われる。
- ・ フィルムの撮影は減っているが、フィルムの問題を考えると、1,700件もまず取り組む年代が見えてくるかもしれない。その年代からデジタル化保全していくという判断も一つあるのではないだろうか。
- ・ DAASの目的、意義について社内でも賛同を得ないと協力ができないため、キチンとした説明ができるようにしたい。

- ・ エスエスの写真を掲載する場合、社名+個人写真家名、というクレジットをいれることは可能だろうか。
- ・ エスエスから提出ものはサイズの統一をしてもよいだろうか。その必要があるのではないか
- ・ データとプリントする色の違いがある。画面でみる写真とプリントしたものとの色の差が大きい。データと出力プリンタとをすりあわせてクオリティを併せる作業が必要。「色が合わない」という問題が起こることも考えられる。
- ・ 3月、4月に会議がある。それまで結論を待って頂きたい。
- ・ カメラマンは設計とも仲が良い場合がある、カメラマンへの呼びかけも大事だと思う。一つ書類があれば、説明ができるようになると思う。

【エスエス社の意見に対する回答】

- ・ 新建築社は会員ではあるが、推進部隊とはなっていないのが現状である。
- ・ 費用の出所ということより、DAASは著作権の観点からということで考えてきたため、権利者に連絡をとることをまず考え、ラージファーム4社を窓口にした。プロジェクトごとの事情については設計者が詳しく、それぞれの対応ができると思えた。
- ・ アプローチする先を教えて頂ければDAASでお願いをする。
- ・ ゼネコンなど、会員のBCSにもお願いをし、周知頂くこともできるかもしれない。
- ・ 古文書館として、安全性の高いサーバーに資料保全をするということは、DAASの保全という機能としてできるわけだが、図面で公開となると難しくなる。また、収蔵もコストとの勝負。
- ・ 建築写真という文化のアーカイブを紹介することもDAASの側面だとも思っている。いずれも現在のDAASの体力に応じた収蔵ペースとなってしまうことは否めない。
- ・ DAASはあくまでも版權は著作者にあるので、その点は、権利者の要請に応じて公開・非公開を決める。紹介をさせて頂くだけと考えている。
- ・ どの写真にどういう価値があるかは曖昧である。古いもの、街並みなど消えゆくもののアーカイブとしての価値がある写真もある。表彰以外に、街並みや都市景観も指標としている。
- ・ 建築作品としての基準、写真自体の価値、など。そこで有るフィルタをかかったといえる表彰作品の収蔵を指標とした。
- ・ 今後地方の表彰作品も視野にいれていきたいとも考えるが、まずは、活動方針の線引きとして、代表的な賞、建築団体の表彰作品を収蔵するという事になった。
- ・ 古いものに遡るといって反面、新しい建物はずっと建ち続けていくという面の両面がある。過去の表彰作品について1作品、資料10点というように、各資料を浅くでも広げていきたいということもある。

- ・ 10点については、設計者がせっかく作品を紹介するならどういった写真で紹介をしたいか、載せたいものを選んで頂くという考え方である。
- ・ 我々のポイントは世に出ていないものに対して付加価値をつけられないかという思いもある。デッドストックをライブストックに。博物館のように展示場と保管庫の機能をDAASが持っているが、その展示場は展示する人のクライテリアによる。
- ・ 予算措置にも様々有る。リアルなアーカイブとのアライアンスを組みたいと思っている。預ける方がうまくいくとなれば。作品が大量に有る場合、ある時点でのスナップショットをとっていかないとならない。
- ・ 条件もつけて頂き、賛同して頂くための疑問点もつぶしていきたいと思っている。

以上

<資料5>

2009年3月13日

DAAS事務局

デジタル卒業設計大賞 2008 懇親会報告

昨年度の提出条件や審査基準の問題点を改善し、本年度のデジタル卒業設計大賞では「インターネット上で閲覧可能にした作品」での提出という条件を追加し、また、審査については「卒業設計で制作した建築に関する評価」「Web サイト上で利用可能なデジタル化による様々な表現手法に関する評価」の二つの観点より行うこととしました。募集要項の変更に影響されたためか、応募作品総数は昨年度の半数以下の14件となりましたが、そのうち5名を入賞者とし、東京芸術大学での懇親会に招待をいたしました。懇親会は入選者によるプレゼンテーションと、六角鬼丈氏の作品講評が行われ、入賞者全員に賞状の授与を、また、入賞作品の中から「六角賞」「優秀Web表現賞」それぞれ1点を選出して、副賞を授与いたしました。

現在 DAAS ウェブにて入選作5作品を公開しています。懇親会の模様については、後日ビデオ映像として公開する予定です。

「デジタル卒業設計大賞 2008」懇親会実施概要

会場： 東京芸術大学美術学部長室

日時： 2009年2月2日 14:00から16:00

審査員： 六角鬼丈先生（DAAS 理事・建築家・東京芸術大学美術学部長）

アドバイザー： 槇文彦先生（DAAS 理事長・建築家）

入賞者： 込山絵美（京都造形芸術大学）「casket of Architecture」

土田純寛（武蔵野工業大学）「空にひらいた小学校」

工藤浩平（東京電機大学）「パレットケース」

六角賞

笠川由美（京都造形芸術大学）「神戸市灘区 JR 貨物線跡地プロジェクト」

小坂宗義（金沢工業大学）「陰翳空間と美術館」

優秀 Web 表現賞